

サンスクリット語で「BEST」

日本発「AGRA」の会心

（他人の過ちには寛大であれ、しかし自分の過ちには厳しくなければならぬ。自分の苦しみには齒を食いしばれ、しかし他人の苦しみを見過ごしてはならないと教えている。トップに立つ者（経営者）は、いかなるときもしっかりと状況判断し、

二の矢三の矢を用意しなければならぬ。すべては自らの責任である。世の中のせいにすることなく、社員の努力不足を嘆かず、大困難を乗り切る気概が必要だ。アグラ(株)代表取締役社長・丹下博詞氏は、日本初

ライズエンジンを投入したマスター統合ソフトウェア『AGRA』の開発で、高い成長軌道が期待されている業界新星。アグラとは、現存する言語として、アジア最古で、世界でも最も古い言語の一つであり、日本にも多大な影響を与えたサンスクリット語でBESTという意味を持っている。日本、アジア発信で、グローバルに技術を問いたいとの気概と志を込めて社名とした。ゆえにその大志こそが同社の根幹だ。『AGRA』に

よって、エンドユーザは構造化され、バラバラに保管されているマスターデータから、自分の言葉で検索をすることができ、そのデータを様々なアプリケーションで応用できるという。まさに新しいパラダイムシフトを起こしていくソフトウェアの開発を信条とする同社の本懐であり、天の時を得た会心作と言えよう。データ統合／検索システムの新しい常識の誕生だけに取分け業界の注目度も熱い。